

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年4月に、全国の6年生児童を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校では次のような調査結果となりました。

教科別学習状況調査結果

国語・算数・理科の3教科の調査結果は、どの教科も全体的にはほぼ神奈川県、及び全国の平均正答率と同じくらいでした。特に算数においては、神奈川県、及び全国の平均正答率を大きく上回りました。

(平均正答率(%))

	二谷小	神奈川県	全国
国語全体	66.0	65.0	65.6

	二谷小	神奈川県	全国
算数全体	73.0	64.0	63.2

	二谷小	神奈川県	全国
理科全体	66.0	63.0	63.3

全国の正答率と比較して

特に成果の見られた学習指導要領の内容

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。 ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉える。 ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。 	<p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。 ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる。 ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。 	<p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫の体のつくりを理解している。 ・自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。 ・予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構成し、自分の考えをもつことができる。
---	--	--

課題の見られた問題

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物像や物語の全体像を具体的に想像する。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 	<p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。 	<p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メスシリンダーという器具を理解している。 ・日光は直進することを理解している。
---	--	--

内容項目	本校	全国平均
○自分には、よいところがあると思いますか。	82.4%	79.3%
○学校に行くのは楽しいと思いますか。	80.4%	85.4%
○将来の夢や目標を持っていますか。	76.4%	79.8%
○学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	80.4%	80.1%
○人が困っているときに進んで助けていますか。	88.2%	88.9%
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	98.0%	96.8%
○友達と協力するのは楽しいと思いますか。	82.3%	94.0%
○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	58.8%	68.1%
○朝食を毎日食べていますか。	98.1%	94.4%
○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	78.5%	81.5%
○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	82.3%	90.4%
○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	74.6%	71.1%
○5年生までの授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	80.4%	77.3%
○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	78.4%	72.7%
○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	86.3%	80.0%
○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	50.9%	51.3%
○学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使っていますか。 *「あてはまる」：ほぼ毎日 「ほぼあてはまる」：週3日以上	76.4%	43.9%
○学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使っていますか。 *「あてはまる」：ほぼ毎日 「ほぼあてはまる」：週3日以上	66.7%	22.5%
○学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使っていますか。 *「あてはまる」：ほぼ毎日 「ほぼあてはまる」：週3日以上	64.7%	21.7%
○学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	94.1%	94.4%
○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていますか。	51.0%	71.5%

生活習慣・学習習慣の課題と展望

「自分にはよいところがある」という項目が80%を超えているという結果は、校内重点研究会で YP プログラムを活用し自己肯定感を高める活動を行っていることもきっかけとなっていると思われます。多感な時期の児童が不安や悩みを抱えているとき、教師に安心して相談できるよう、話しやすい雰囲気をつくり、信頼関係を築けるよう今後も努めていきます。

また、本校では日ごろから授業中積極的に ICT 機器を使って学習していることで、多くの児童が ICT 機器の使用が勉強の役に立っていると感じています。今後も必要な場面に応じて積極的に活用していき、学びを深めていきます。また、友達と協力する良さを感じる場面を意図的に設定し、考えを深めたり、広げたりする協働的な学びも大切にしていきます。

生活面では、自分で計画的に家庭学習をする習慣が身につけている児童が多くみられます。一方で起床・就寝時刻が一定でない児童もいるようです。心身の健康のためにも規則正しい生活習慣を身につけられるようご家庭でもご協力お願いします。また、携帯電話などの使い方についても、ご家庭でお子様と再度確認、約束をしていただけるとよいと思います。